２０２３年６月４日（三位一体主日・聖霊降臨後第１主日、A 年）
牧師メッセージ
「わたしたちが疑おうとも」
（マタイによる福音書 28：16-20）

司祭ヨセフ太田信三

今日の福音は、ご復活後の主イエスと弟子たちが初めて会う場面です。弟子たちは約束の山で主イエスに会い、ひれ伏します。しかしその中には「疑う者」もいました。目の前にご復活の主イエスがいるにもかかわらず、です。その弟子の心に主イエスが気付かないはずがありません。しかし、主イエスはその疑う弟子にも近づき、語りかけ、宣教へと召し出します。

疑いも超えて近づいてくださる主イエス。この主イエスの姿に、神の思いが溢れ出ています。世界を創造し、すべての命を「極めて良い」と宣言された神は、すべての命を祝福し、愛し抜きます。しかし、その神から、その愛から人間は離れてしまいます。その人間を神は何度もご自分の元へと連れ戻しますが、それでも人は神から離れ、別の何かに頼り、彷徨います。これが旧約聖書に明らかにされている人間のリアルな姿です。しかしそれでも、神は人に近づいてくださいます。創造のはじめからわたしたちの命を祝福し、その命を見捨てない神は、なんとしてでもわたしたちにその愛を伝えるために、ついにわたしたちと同じ姿である御子をわたしたちの間に遣わしてくださるのです。あなたがたと同じ人であれば、あなたがたは分かるだろうと、その愛を「あなたとわたし」の距離にまで近づいて届けてくださるのです。そうまでして、すべての命を極めて良いと祝福し、愛してくださる。それが、御子の受肉によって示される神の愛です。そして先週の聖霊降臨日にお祝いしたように、主イエス昇天後は、聖霊がわたしたちにいつまでも伴い、導き続けてくださっています。今日の三位一体主日にこの箇所が読まれたことの意味が、ここにあるように感じます。三位一体なる神は、父なる神として、子なる神として、聖霊なる神として、つまりあらゆる手段でわたしたちに近づき、語りかけ、父と子と聖霊の交わりへとわたしたちを招いてくださるのです。わたしたちが疑うこと無く、立派な者であるから招かれるのではありません。神が疑いをも超えて近づいてくださるから、わたしたちは招き込まれるのです。

今日の使徒書でのパウロの祝祷、「主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同とありますように。」は、わたしたちがいつも会合や礼拝の終わりに唱えるものです。神が近づいてくださり、わたしたちを父と子と聖霊の交わりのなかに招き込んでくださるからこそ、わたしたちは、主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の御導きの中に生かされます。三位一体主日、近づいてくださる神の招きをあらためて感じ、神の愛、祝福を全身に受けましょう。